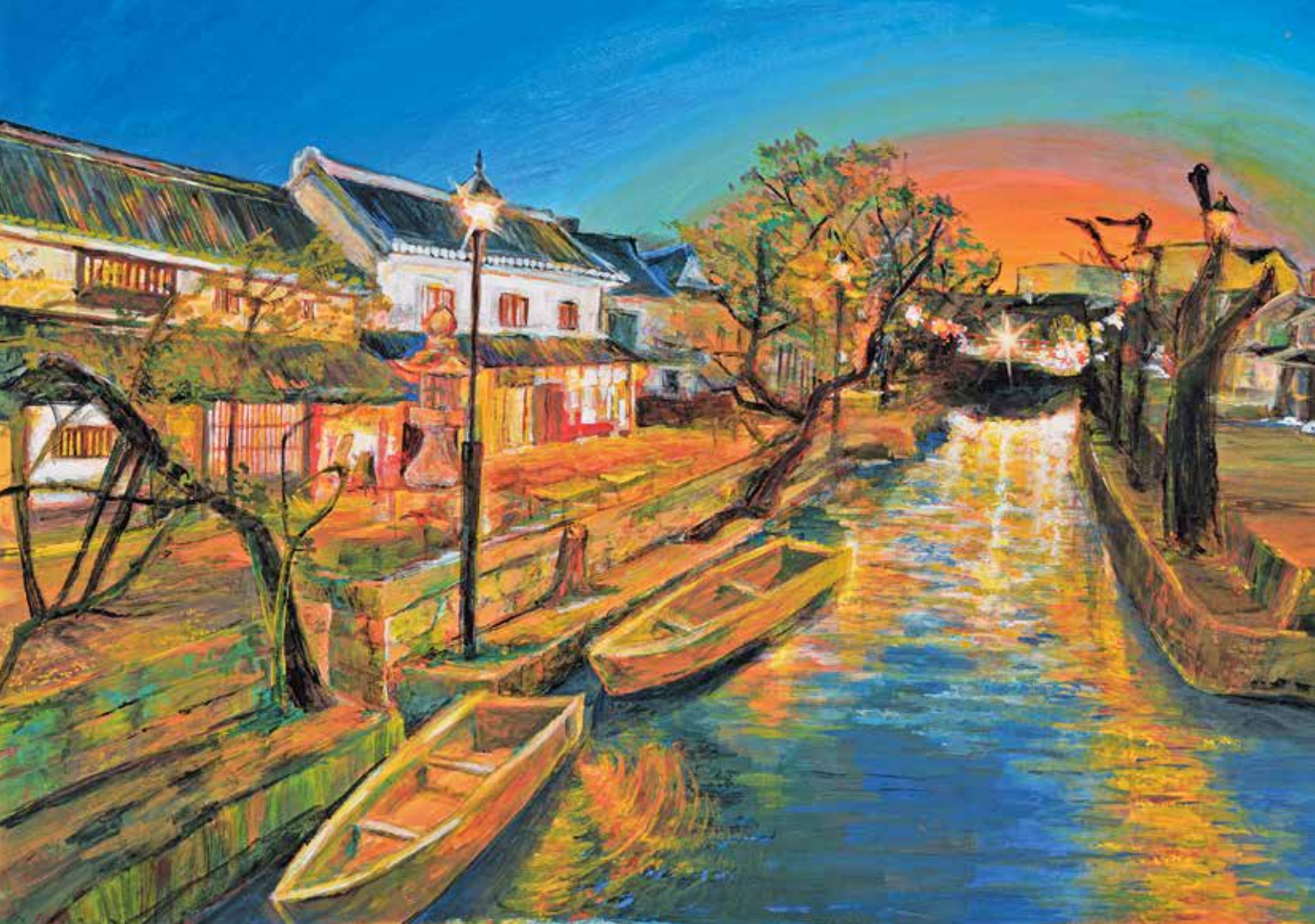




絵画 | あたたかみのある美観地区 岡山県立総社高等学校 1年(昨年度) 藤田 明希 さん



KOSAikaiHO

2026 (令和8年) 10.10 No.202

# 弘済会報

〒703-8258 岡山市中区西川原255番地  
(おかやま西川原プラザ内)  
TEL.086-272-1909  
FAX.086-272-1781  
ホームページ <https://okakyoko.or.jp>  
メールアドレス [okayama@okakyoko.or.jp](mailto:okayama@okakyoko.or.jp)

## CONTENTS

|                                 |   |
|---------------------------------|---|
| 随想「地域とともに」(鈴鹿貴久) .....          | 2 |
| 岡山県教育カレンダー絵画コンクール作品募集のご案内 ..... | 3 |
| 50代からの「退職準備セミナー」開催のご案内 .....    |   |
| 教育振興事業のご報告 .....                | 4 |
| 学校園紹介(岡山県立興陽高等学校) .....         | 6 |
| 文芸のひろば .....                    | 7 |
| 宿泊補助の申請方法変更のお知らせ .....          | 8 |



岡山県立岡山朝日高等学校  
校長  
鈴鹿 貴久

6年前の5月、初めての単身赴任生活が始まった。高梁川の清流と、緑豊かで色鮮やかな山里の風景。幼少期を吉井川沿いの小さな町で過ごしたが、自分の中に刷り込まれていた当時の記憶がどこからともなくよみがえり、新しい環境での生活に違和感なくスッと馴染んでいく感覚に驚いた。

新見高校で2年間、校長として勤務した。特に印象に残っているのが、朝の登校時間帯の町の様子である。ボランティアの方々がどこからともなく、たくさん通学路に出てこられ、子どもたちに声をかけ、笑顔で見送っている。登下校時の見守りには多くの皆さんが関わっておられ、毎日繰り返されるこの光景に「子どもたちは地域の宝、町全体で大切に育てていこう」という強い思いを感じた。

少子化の影響もあり、生徒募集は厳しい状況

にあったが、地域の方々の学校を愛する思いは大変強く、商工会や市の行政、高校の同窓会等が連携して学校を支える体制が確立されていた。公教育の使命は「各自が受けた教育を自由に選択でき、その教育を受けることができるよう、どこに住んでいる人にも平等にその機会を提供すること」にあると考えている。将来の学校のありべき姿について、広く地域の意見を収集しながら検討し、地域の全面的な協力の下、できることから積極的に取り組んでいった。地域の思いに寄り添い、地域に愛され、地域とともにある学校を理想として学校運営に当たらなければならないと、改めて気付かされる2年間だった。

「早朝、どこからともなく聞こえてくるウグイスの鳴き声」「日中、実習地の田んぼに響き渡るカエルの大合唱」「夕方、学校の裏山から聞こえてくるヒグラシの囁き」「時を問わず、学校の廊下を堂々と横切っていくサワガニの姿」、そのどれもが、穏やかで心地よい、かけがえのない思い出である。

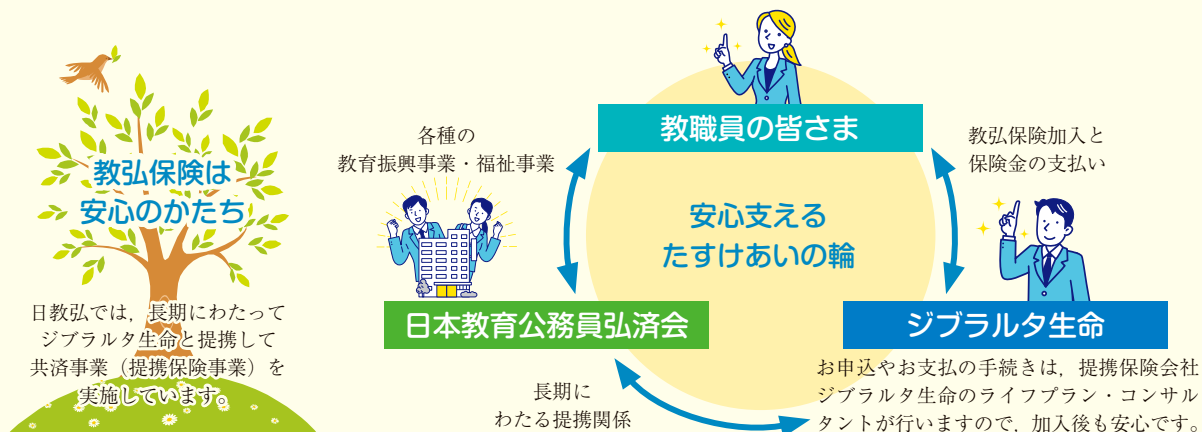
## ～すべては子どもたちのために～

公益財団法人日本教育公務員弘済会（略称 日教弘）の教育振興事業（奨学事業、教育研究助成事業、教育文化事業）は**“最終受益者は子どもたちであること”**を前提として実施しています。

これからも、未来を担う子どもたちの健やかな成長を願い、事業運営に取り組んでまいりますので、皆さまの一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

### 日教弘の各事業は、教弘保険の契約者配当金等を財源にしています。

日教弘の教育振興事業（奨学事業、教育研究助成事業、教育文化事業）および福祉事業は、教弘保険の契約者配当金等により運営されており、日本の教育界に貢献しています。



# 岡山県教育カレンダー絵画コンクール作品募集中！

応募締切  
**11/20(金)**  
必着

日教弘岡山支部では、教育カレンダーに掲載する児童生徒の絵画を募集しています。岡山県の風景、子どもたちの夢や未来のふるさと、学校での楽しい思い出など、平素の学習の中で作成された作品や夏休みの課題をふるってご応募ください。



テーマ  
「かがやく岡山」

## 様式

画用紙（8つ切り以上）、キャンバス（6～10号）を横長に使った平面作品

## 画材

クレヨン、パス、コンテ、水彩絵の具、油絵の具など

## 応募点数

1人1点

## 募集対象

岡山県内の小学校、中学校、高等学校および特別支援学校等に在学する児童生徒

## 応募方法

作品の裏に学校名、学年、氏名、題名を記入し、必ず学校ごとにまとめて「岡山県教育カレンダー絵画コンクール応募者一覧表」を添付の上ご応募ください。応募者一覧表は、弘済会報（春号・夏号）に同封し、対象校あてに送付しています。

● 募集要項・応募者一覧表様式はホームページからもダウンロードできます。  
URL→[https://okakyoko.or.jp/calendar\\_boshu.html](https://okakyoko.or.jp/calendar_boshu.html)



## 送付先

〒703-8258 岡山市中区西川原255番地  
公益財団法人日本教育公務員弘済会岡山支部 教育カレンダー絵画コンクール係

## 50代からの「退職準備セミナー」開催のご案内

今後ご退職予定の教職員の皆さまを対象に、豊かなセカンドライフのためのセミナーを開催します。★11月28日岡山会場は定員間近です。

将来の年金等についても、セミナーで理解していきましょう！



### 津山会場（定員70名）先着順

11月14日（土） 受付開始 13:00  
開催時間 13:30～16:00

津山市総合福祉会館  
津山市山北520  
☎（0868）23-5130

### 岡山会場（定員各100名）先着順

★11月28日（土） 受付開始 13:00  
1月16日（土） 開催時間 13:30～16:00

おかやま西川原プラザ  
岡山市中区西川原255番地  
☎（086）272-1923

カーナビご使用の際は、所在地での検索をお願いします。

### 倉敷会場（定員70名）先着順

12月19日（土） 受付開始 13:30  
開催時間 14:00～16:30

ライフパーク倉敷  
倉敷市福田町古新田940  
☎（086）454-0011

### 総社会場（定員70名）先着順

1月9日（土） 受付開始 13:00  
開催時間 13:30～16:00

サンロード吉備路  
総社市三須825-1  
☎（0866）90-0550

## 主な内容

- 教弘保険等、ご退職に伴う保険料払込方法変更手続きの概要
- 「岡山教弘友の会（退職会員の会）」の活動内容のご紹介
- 専門講師による豊かなセカンドライフのためのセミナー

## 申込方法

- 申込書を学校園担当者へご提出いただくか、日教弘岡山支部事務局までメールもしくはFAXください。  
（メール：okayama@okakyoko.or.jp FAX：086-272-1781）  
※申込書は当支部ホームページにも掲載しています。

参加費  
無料

日教弘  
岡山支部  
メール



# 教 育 振 興 事 業 の ご 報 告

令和8年度の奨学事業（貸与および給付）、教育団体助成、教育文化助成、研究大会助成、学校研究助成および球根贈呈について、次のとおり決定しました。日教弘岡山支部ホームページ（<https://okakyoko.or.jp>）では、各団体名、活動・研究テーマも掲載していますので、ご覧ください。

## 貸与奨学金 25名に2,300万円を貸与

貸与型の奨学事業は、大学(院)や短期大学、高等専門学校等の4学年以上および専修学校専門課程に在籍もしくは入学予定の学生を対象に実施しています。今年度は25名に2,300万円を貸与することを決定し、日教弘本部から送金されました。

## 給付奨学金〈高校生対象〉50名に500万円を給付

高校生対象の給付型の奨学事業は、県内の高等学校および特別支援学校高等部等に在籍する生徒を対象に、修学支援を目的として実施しています。今年度は50名に500万円（1名につき10万円）を給付しました。

## 教育団体助成 18団体に142万円を贈呈

県内の教育団体等が行う教育研究活動・教員研修に助成しています。今年度は19団体から申請があり、選考の結果、18団体に142万円（1団体につき5～10万円）を贈呈しました。

**助成団体名** 岡山県国公立幼稚園・こども園長会／岡山県小学校長会／岡山県中学校長会／岡山県高等学校長協会／岡山市小学校長会／岡山県小・中学校長会連絡協議会／岡山県公立小中学校教頭会／岡山県高等学校教頭・副校長会／岡山県立学校事務長会／全国公立小中学校事務職員研究会岡山支部／岡山県公立高等学校事務職員協会／岡山県小学校教育研究会／岡山県中学校教育研究会／岡山県高等学校教育研究会／岡山県特別支援学校教育研究会／岡山県高等学校定時制通信制教育振興会／岡山県小学校特別活動研究会／岡山県小学校教育研究会生活科・総合的な学習部会



## 教育文化助成 40団体に227万円を贈呈

本県の教育文化の発展や青少年の健全な育成を目的に、学校教育や社会教育等の各分野において、個人または団体（PTA・児童・生徒等の活動を含む）の研究・活動に助成しています。今年度は53団体から申請があり、選考の結果、40団体に227万円を贈呈しました。

**助成団体名** 岡山県教育振興会／蒼明学院中等部／総社市立池田小学校／津山市立鶴山中学校／高島公民館高島地域づくり隊／ウィズはあと／岡山県高梁市立宇治高等学校／岡山大学附属特別支援学校／竜操地域学校応援団／岡山県高等学校文化連盟／興除中学校区連携教育推進会議／岡山県立西大寺高等学校／美作大学沖縄県人会／倉敷南小学校PTAおやじの会／岡山県中学校文化連盟／科学ヘジャンプ中四国地区実行委員会／浅口市立鴨方西小学校学校運営協議会／岡山県高等学校教育研究会英語部会／玉野市特別支援学級保護者の会あすなる会／岡山市立馬屋下小学校金管バンド部／誠道小学校地域学校協働活動／玉野市立玉野商工高等学校／余野小学校学校運営協議会／岡山県産業教育振興会／岡山県立玉野高等学校／真庭市立檜邑小学校／岡山学芸館高等学校合唱部サイダージ／田賀屋狂言会／備中「聞き書き」実行委員会／にじいろハーモニープロジェクト／NPO法人こくさいこどもフォーラム岡山／NPO法人manabo-de／総社ジュニアコーラス／妹尾ふなめし保存会／都山流岡山県支部／岡山県民俗芸能大会実行委員会／バスケットボールキャンプ企画NEXT DREAM／杜の学校研究会／NPO法人だっぴ／津山《風と光と心の劇場》実行委員会



## 研究大会助成 8件に55万円を贈呈

教育関係団体等が2県以上にまたがる研究大会を開催する場合、その経費の一部を助成しています。今年度は、8件の大会に55万円（1件につき5～10万円）を贈呈しました。

**研究大会名** 第60回中国・四国中学校長研究会岡山大会／令和8年度第37回中国四国地区特別支援学校知的障害教育校PTA連合会研究協議会（岡山大会）／第23回中国地区高等学校総合学科等教育研究大会／第64回中国・四国地区肢体不自由教育研究協議会（岡山大会）／第20回中国地区小学校特別活動研究大会岡山大会 令和8年度岡山県岡山市小学校特別活動研究大会／日教組中国地区協議会事務職員部研究集会／日教組中国ブロック第59回養護教員部研究集会／令和8年度中国地方放送教育交流大会岡山（倉敷）大会

## 学校研究助成 86校園に1,043万円を贈呈

学校園単位の研究活動とその研究の中核となるグループに対して助成しています。今年度は86校園に1,043万円（1校園につき上限20万円）を贈呈しました。

### 助成金贈呈校園名

|              |             |            |               |              |
|--------------|-------------|------------|---------------|--------------|
| 備前市立香登認定こども園 | 岡山市甲浦認定こども園 | 美作市立湯郷こども園 | 岡山市中山認定こども園   | 岡山市立鯉山幼稚園    |
| 岡山市立三門幼稚園    | 津山市立つやま西幼稚園 | 総社市立三須幼稚園  | 倉敷市立茶屋町西幼稚園   | 早島町立早島幼稚園    |
| 美作大学附属幼稚園    | 倉敷市立老松幼稚園   | 真庭市立富原小学校  | 玉野市立後閑小学校     | 高梁市立福地小学校    |
| 岡山市立小串小学校    | 井原市立稻倉小学校   | 津山市立喬松小学校  | 新見市立野馳小学校     | 岡山市立馬屋上小学校   |
| 新見市立高尾小学校    | 備前市立西鶴山小学校  | 矢掛町立中川小学校  | 真庭市立湯原小学校     | 新見市立刑部小学校    |
| 矢掛町立三谷小学校    | 津山市立勝加茂小学校  | 笠岡市立神内小学校  | 岡山市立旭東小学校     | 岡山市立開成小学校    |
| 岡山市立城東台小学校   | 倉敷市立蘭小学校    | 岡山市立加茂小学校  | 倉敷市立琴浦東小学校    | 倉敷市立柏島小学校    |
| 岡山市立興除小学校    | 津山市立北小学校    | 瀬戸市立国府小学校  | 岡山市立灘崎小学校     | 岡山市立第二藤田小学校  |
| 新見市立思誠小学校    | 浅口市立鴨方東小学校  | 倉敷市立乙島小学校  | 岡山市立東曙小学校     | 倉敷市立富田小学校    |
| 岡山市立妹尾小学校    | 岡山市立芳明小学校   | 倉敷市立葦高小学校  | 岡山大学附属小学校     | 倉敷市立第一福田小学校  |
| 岡山市立芥子山小学校   | 倉敷市立中庄小学校   | 岡山市立横井小学校  | 岡山市立陵南小学校     | 倉敷市立長尾小学校    |
| 岡山市立宇野小学校    | 岡山市立吉備小学校   | 岡山市立緑ヶ丘中学校 | 新見市立哲西中学校     | 玉野市立東児中学校    |
| 井原市立高屋中学校    | 矢掛町立矢掛中学校   | 岡山市立岡輝中学校  | 新見市立新見第一中学校   | 岡山市立岡山中央中学校  |
| 里庄町立里庄中学校    | 岡山市立妹尾中学校   | 岡山市立東山中学校  | 岡山市立瀬戸中学校     | 岡山市立西大寺中学校   |
| 岡山市立石井中学校    | 岡山大学附属中学校   | 岡山市立旭東中学校  | 岡山市立桑田中学校     | 岡山市立御南中学校    |
| 岡山市立竜操中学校    | 高梁市立有漢学園    | 岡山市立山南学園   | 倉敷市立工業高等学校    | 玉野市立玉野備南高等学校 |
| 岡山県立和気閑谷高等学校 | 岡山県立邑久高等学校  | 岡山県美作高等学校  | 岡山県立東岡山工業高等学校 | 岡山県立岡山聾学校    |
| 岡山県立岡山南支援学校  |             |            |               |              |

## 球根贈呈 233校園にチューリップの球根17,850球贈呈

草花を栽培することで学校園の教育環境を整え、園児・児童の健全な育成に資することを目的に、小学校、幼稚園・認定こども園に球根を贈呈しています。今年度は233校園にチューリップの球根17,850球（1校園につき50球もしくは100球）を贈呈することを決定しました。

※チューリップの球根贈呈校園一覧については、  
日教弘岡山支部ホームページ  
(<https://okakyoko.or.jp>) を  
ご覧ください。



## 岡山県立興陽高等学校



中野 功 校長

本校は、創立110年目を迎えた農業と家庭系の専門高校です。建学の精神「開拓新天地」のもと、農業科、農業機械科、造園デザイン科、家政科、被服デザイン科、ライフデザイン科（令和8年度新設）の専門性を生かし、学科の枠を超えて学びをつなげています。「興陽なら世界が広がる 興陽しか創れない」を合言葉に、学びを人と社会につなげる「KOYO興樂園プロジェクト」で、生徒一人一人の可能性を広げる教育活動に取り組んでいます。

### 「KOYO興樂園プロジェクト」から

#### 広がる「共創」の学び .....

「興樂園」の名には、岡山後楽園の名称の由来でもある「先憂後楽」の精神が込められています。これは、相手を思い、自ら考えて行動し、人の喜びを自らの喜びとするという、本校が大切にしてきた学びの姿勢に深く通じるものです。32haに及ぶ広大な敷地には、歴史ある建物や庭園、水田や畑、四季折々の樹木が広がり、豊かな自然と文化が息づいています。農業と家庭の学びは、ともに「人の命を支え、人の暮らしを支える」営みに根ざした学びであり、こうした恵まれた教育環境の中で伝統と文化を受け継ぎつつ、学科の専門性をを超えて人と社会を結び、新たな価値を創造する「共創」の学びを育んでいます。

その歩みを支えているのが、令和7年度に設置した学校運営協議会「ならしか協議会」です。「興陽なら世界が広がる 興陽しか創れない」の『ならしか』を合言葉に、教職員、地域や産業界、教育機関、保護者、同窓会など、多様な立場の皆さんが心をつにし、それぞれの知見と力を持ち寄りながら、未来を担う人材の育成に力を尽くしています。令和8年度に新設したライフデザイン科は、家庭系学科の改編にとどまることなく、農業と家庭の専門性を融合し、すべての学科の学びを有機的につなぎ合わせる「KOYO共創STEAM教育」へと発展させる大きな一歩です。また、「ならしか協議会」の設置と「ライフデザイン科」の誕生を契機として、教職員が一丸となって学びが響き合う学校づくりを進め、生徒の実感と教職員の専門教育の充実が好循環を生み、持続可能なコミュニティ・スクールを実現させることを目指しています。

令和8年3月には、「ならしか協議会」の皆さんと専門学科との協働により、日本庭園とバラ園が完成しました。そこは、造園や農業の学びを礎としながら、被服や家庭など異なる専門性が出会い、生徒の学びや作品を社会へ発信する場として新たな広がりを見せています。専門学科それぞれの学びを生かし合い、互いの専門性を尊重しながら、新たな価値を創造し、社会へ発信する共創の場として、これからも育んでまいります。



新旧が調和した校舎外観



世代をつなぐファミリー稲作



手作り電車でつなぐ笑顔と学び



33年目を迎える食と心をつなぐ宅配



製作した浴衣で彩る日本庭園



産学共創が生んだ「育てる庭園」

# 文芸のひろば

作品の後に所属(投稿時)・お名前を記載しております。

## 教弘歌壇

石井 宏幸選

〈特選〉

ふうはりと人包むようトネリコの花風の手に委ねてゆらぐ

退職会員 松元 慶子

〔評〕トネリコはモクセイ科の日本原産の落葉植物で、六月頃に白い小さな花を群がり咲かせる。観葉植物としても愛でられる葉の緑とも相俟って、いかにも見目柔らかな花だ。その柔らかなさを、ふうわりと人を包むとまで詠んだが、そう詠まれて読んだ者を包み込む巧みと、あるはずのない風に手を持たせ、その手に花を委ねるとの二重の表現の巧みがこの歌を支えている。

花をつけたトネリコに隣って吹かれる風の心地よさを想った。

〈佳作〉

うすうすと蟬の鳴き声聞きながら吾子と目が合い目覚める葉月

倉敷・第三福田小 光本 智夏

猛暑日は講座に備え図書室でふ涼しい部屋で源氏に浸る

和気関谷高 北川久美子

文人は相軽んずる和泉路に篠突く雨はまだ降り止まず

山陽学園高 土師 康生

〈入選〉

モグモグと思春期の孫の朝ごはん完食でしたホッと一息

退職会員 瀧口 静子

白河で泳げと強いるこの世に過ちでしか見えぬものあり

笠岡・笠岡西中 浦川 美咲

講師とて臨む気持ちちは皆同じ良き子になれと言葉を選ぶ

岡山学芸館高 三宅 洋広

齢重ね赤子に還る我が身かな知らぬことなお尽きぬ人生

岡山西支援 江國 泰洋

水無くも勢い止まぬ雑草に抗うことのむなしさ募る

退職会員 服部 誠

動かねば動けなくなると戒めてシルバーカー押す我は九十三歳

退職会員 尾島 生子

◆選者吟

刃をあててスクと刃の入る大西瓜六等分にある子の未来

## 教弘俳壇

伊東 伸介選

〈特選〉

空襲の記憶は尽きず盆の母

備前・吉永中 宮脇 明美

〔評〕特選句に添えられた詞書に、「火垂るの墓」の原作者と同じ空襲を体験した母は現在九十二歳と記されていた。火垂るの墓は一九四五年六月五日の神戸空襲で家を焼かれた原作者・野坂昭如の自伝的要素の強い作品。こ

れをジブリ作品として映画化したのが岡山空襲を九歳の時に体験した高畑勲。空襲のシーンは岡山空襲の体験を基にリアリズムを徹底的に追求した。映画製作発表時に高畑は「この物語は戦時中だけの話ではなく、現代にも続く」と言い切った。盆の母も、作者も同じ思いに違いない。選者の母も。

〈佳作〉

秋うららひとさし指でひくピアノ

倉敷・連島南小 村上 昂平

夏の日を溜めては落とす水車かな

退職会員 貝畑 信行

湯けむりが消えゆく先よ天の川

退職会員 河合 智彦

〈入選〉

風鈴の冊継ぎ足して音新た

退職会員 落合 範昭

脱穀機木の歯車の音やさし

高梁高 別所 琴美

親と子でい草の香るラリーかな

倉敷・児島小 土師 宏文

枝豆をひとつ摘まんで黙考す

退職会員 山崎 淑加

野球帽真深にかぶり炎天へ

退職会員 渡辺 智子

脇芽もぐトマトの香指先に

美作・江見小 玉櫛 敦子

炎帝や模試の静寂破るペン

倉敷・玉島西中 赤木 藍

夕涼みBGMは子の寝息

倉敷・富田小 村上 和美

◆選者吟 VAMOSホーム開幕戦練兵場と呼びし時代やバモ！の夏

## 教弘柳壇

丸山 敏幸選

〈特選〉

相方のチャイがやる気をONにする

新見高 難波 宏子

〔評〕チャイはインド発祥の甘く煮出したスパイスリーなミルクティーのこと。相方は相担任、それとも結婚相手あるいは恋人だろうか。チャイそのものかもしれない。やる気にスイッチを入れるには色んなものが考えられるが、作者の場合はそれがチャイだった。私たちは背中を押してくれる何かを見つけて、生きていく工夫をしている。

チャイやONという言葉を使いい、非常にモダンでチャーミングな句になった。

〈佳作〉

食べてないメロンの種がゴミの中

岡山・竹枝小 林 幹衛

我が母校ずっとあると思つた

高梁城南高 古村 英治

男性も日傘をさしてこの酷暑

退職会員 奥山 拓美

〈入選〉

積ん読を眺めるだけでワクワクし

倉敷・玉島西中 西江 優子

カキオコを食べば汽笛が鳴る港

井原高 伏見 拓也

増えるのは贅肉と税減るは金

退職会員 西村 毅

年老いて小金貯めたる剣呑さ

岡山・財田小 三好 隆志

今どきは三十度でも涼しいと

退職会員 藤原 隆志

思春期の危なっかしさに目を瞑る

興陽高 佐々木正剛

かるの子の七羽目数え安堵する

退職会員 北村 庸江

物価高母のため息腹八分

美作高 初川 渉

ご来光幸多かれと富士の山

退職会員 菱川 泰博

◆選者吟

失敗をする度優しくなれる奴

## 作品募集

★次号は十一月四日締切

応募は短歌・俳句・川柳いずれかつを選んで、はがきに作品(三点以内)・勤務先・氏名を明記。事務局教弘歌壇係、教弘俳壇係、教弘柳壇係まで。

次回会報二〇三号は一月十日発行です。

★作品が掲載された方には図書カードを進呈します。初めてのご投稿、皆様のご応募お待ちしております！

必着!!

教弘保険  
ご加入の  
皆様へ



宿泊補助の申請方法が  
2027(令和9)年4月1日より  
[宿泊施設利用券(宿泊当日の割引)]から  
[宿泊後申請(宿泊後の送金)]に  
変わります。

より便利に・スピーディーに

宿泊前の申請が  
不要

紙の利用券が  
不要

郵送の待ち時間  
なし

STEP  
1

ご宿泊時に  
領収書または宿泊証明書を受領※



STEP  
2

いつでもどこでも  
スマホ・PCから1回で電子申請が完了※



STEP  
3

ご宿泊後に銀行口座へ補助金額をお振込



※詳細につきましては、今後、広報誌やホームページ等でお知らせする予定です。



宿泊補助の  
変更点については  
こちらへ!!



公益財団法人 日本教育公務員弘済会

〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷5-4-6 教弘会館2階 ☎03-3354-4001

URL <https://www.nikkyoko.or.jp>